北海道学童軟式野球都市対抗戦

同運営委員会

2019.10.10

**大会要項１（開催事項）**

名称：　北海道学童軟式野球都市対抗戦 ～EZO CITY THE BATTLE 2019 ～

日時：　2019年11月2日（土）予選1次リーグ

2019年11月3日（日）予選2次リーグ及び決勝トーナメント　準決勝

2019年11月4日（月）予備日

2019年12月8日（日）決勝及び3，4位決定戦

会場：　東川町ゆめ公園野球場、東川町民運動公園野球場Ａ・Ｂ、東神楽町義経公園野球場、当麻町営野球場、当麻町営グランドＡ・Ｂ、ぴっぷ町営球場、百年記念公園多目的広場Ａ・Ｂ

　　　　札幌コミュニティー　つどーむ

主催：　都市対抗戦運営委員会

協賛：　大塚製薬㈱　札幌支社

後援：　東川町　ぴっぷ町　当麻町　東神楽町

北海道日刊スポーツ新聞社㈱　トップインターナショナル(株)

協力：　旭川軟式野球連盟　札幌軟式野球連盟　東川大雪少年野球団　旭川選抜チーム

　　　　ベースボール北海道ストライク

主管：　一般社団法人 北海道チャンピオンシップ協会

都市対抗戦運営委員会

大 会 長：　　　浦野 和由 （北海道チャンピオンシップ協会）

大会委員長：　　白谷 聡智　（北海道チャンピオンシップ協会）

大会本部長：　　高石 大地（東川大雪野球少年団）

大会事務局長：　山田 裕樹 （北海道チャンピオンシップ協会）

080-6075-6055　ezo047yamada@gmail.com

大会運営委員：　西川 博樹　大滝 慶太　竹内 政光　亀山 泰生　大井 章史　野川 和彦

荒川 拓也　杉山 哲也　吉田 英史　向井 拡充　藤井 孝介　竹村 文宏

坂下 賢一　宮山 晃宏　藤森 塁　中野 康志　坂東 聖治　出﨑 雄司

本田 学士　渡辺 敦　沢口 健一　板垣 武宏　高橋 信也　倉野 英一

森 拓実　笠嶋 昌彦　小林 大助　羽二生 紀行　片山 竜登（順不同）

審判長：　旭川軟式野球連盟　審判部長（予定）

審判員：　旭川軟式野球連盟ほか（予定）

内容：　予選のリーグ戦を２度行い、勝ち抜いた４チームにより決勝トーナメントで道内ナンバー１を決める。優勝チームは2020年2月兵庫県淡路島で開催される全国大会の出場権を得る。

趣旨:　小学６年生のみで構成された市または地域の代表選抜チームにより、北海道の底辺である

少年（学童）野球競技の普及とレベルアップ。

参加チーム : 函館・留萌・室蘭・釧路・旭川・富良野・帯広・千歳・北広島・音更・苫小牧・日高・北見・岩見沢・宗谷・根室・中標津・名寄・檜山・網走・小樽・札幌・北空知・西胆振・士別・江別・後志・オホーツク・空知・東川大雪野球少年団　全３０チーム

（申し込み順）

**大会要項２（参加条件事項）**

チーム：　北海道軟式野球連盟で区枠されている支部を参考とし、支部からは原則１チームとする。

北海道チャンピオンシップ協会加入チームである選手が必ず選出なされていること。

北海道チャンピオンシップ協会加入チームの監督またはそれに準ずる役に属している方が代表者または監督とすること。

チーム編成は公平を期すため選考会（セレクション）や各団体と協議したものとする。

編成されたチームは大会前に必ず２試合以上の壮行試合を行うこと。

北海道軟式野球連盟で区枠されている支部を超越したチームの編成は認めない。

但し下記の通り例外を認める場合がある。

例外①

北海道軟式野球連盟で区枠されている支部に市が複数所在する場合と市を除く町村で大多数のチームが存在する場合は複数の参加を認める。

例外②

北海道チャンピオンシップ協会に加入していないチームからの選手選出は認める。

例外③北海道チャンピオンシップ協会に加入していなくても当協会が主催する大会に参加しているチームの関係者が選抜チームの代表者及び監督として認める。

例外④

現在、チームに所属していない方が代表者または監督となる場合は所属チームの退任時に北海道チャンピオンシップ協会加入されていたことが条件となる。

※注意…誰一人協会加入していない選手選出や誰一人協会加入していない方の代表者または監督のチーム構成では出場できません。

選手： 　小学６年生の男女のみとする。

道内で活動している学童軟式野球チームの所属選手。傷害・障害保険加入済みであること。

※重要…大会中のけがや故障は主催者側での責任は一切負いかねます。

「スポーツ安全保険」は選抜チームの活動は所属チームの活動と異なる為、保険適

用外となる場合があります。必ずご確認ください。また適用にならない場合は改めて

ご加入いただくか、個人加入の保険を使用するか十分話し合われてください。

参加選手の服装：　　帽子とユニフォームシャツ（上着）のみは全員同様のものを着用。

　　　　　　　　　　背番号は０～９９までとし１０を主将番号とする。ネーム入れ可

ベンチスタッフ：　　監督は３０とし選手同様の服装とする。他の方は同様の帽子を着用。

　　　　　　　　　　ベンチ入りの大人は監督含め５名のみとする。選手は１８名以内と定める。

　　　　　　　　注意：優勝されましたチームは淡路島での全国大会の出場になりますが、この開催時には大会要項が示されておらず本大会と異なる場合があることを十分にご理解いただきたく願います。

登録名簿提出：　所定の用紙に明記し集合写真の添付と共に下記のまでお送りください。

ezo047yamada@gmail.com 山田

期限は１０月１０日（木）まで

大会出場に当たり主にかかる費用 :

・大会参加費…１チーム　　**２０，０００円（10/10まで振込）**

・ユニフォーム代

・レセプション会費

・交通費

・宿泊費

・全国大会に出場する際の大会参加費と旅費

※交通費・宿泊費または懇親会（レセプション）などは自己負担となり、当委員会や当協会からの補てんはありません。また自治体によっては助成金の対象となる可能性がある地域もありますので、各チームまたは個人でお調べください。

その際に提出しなければならない書類などがありましたら「大会要項１」を、不備や追記を指摘されましたら直接【山田】080-6075-6055までご連絡ください。

※優勝チームは、2019年2月に行われる「第５回全日本選抜小学生野球選手権淡路大会」へ北海道代表として出場となります。その際にかかる費用はチーム（個人）の自己負担となり、正当な理由なくキャンセルすることはできませんのでご理解ください。

宿泊について：　　別紙にてご参照ください。

レセプションについて :　　大会1日目の夜に開催地で予定しております。詳細に関しては別紙にてご参照ください。

◆お振込先

名義 一般社団法人 北海道チャンピオンシップ協会

北海道銀行　美唄支店　普通　口座番号: 0697000

受付期日 **１０月１０日（木）**まで必ずチーム名を明記の上お振込みください

**大会要項３（競技）**

規則：　　2019年公認野球規則および大会特別規定による。

　　　　　大会特別規定は別に定める。

　　　　　使用球は軟式Ｊ号ボールをとする。

方法：

《予選１次リーグ》別紙あり

　大会1日目に（11月2日予定）3チームを1ブロックとし10ブロックに分けリーグ戦を行う。
　勝敗で一位のチームは予選２次リーグに進む。（２勝は一位）
　勝敗で並んだ場合は以下の順で一位チームを決める。
　　　　　　　1.得失点差　2.総得点数　3.その時点で出場している選手9名による一斉ジャンケン

《予選２次リーグ》別紙あり

大会2日目に（11月3日予定）予選１次リーグで勝ち抜いた10チームと繰り上げ2チームの合計12チームで再度組み合わせ抽選をする。

3チームを1ブロックとし4ブロックに分け決勝トーナメント進出を行う。
　勝敗で一位のチームは決勝トーナメントに進む。（２勝は一位）
　勝敗で並んだ場合は以下の順で一位チームを決める。
　　　　　　　1.得失点差　2.総得点数　3.その時点で出場している選手9名による一斉ジャンケン

注意：繰り上げ2チームの選出方法について（ワイルドカード）

　　　予選2次リーグに進出するチームが並んだ場合次の条件順となる

1.得失点差　2.総得点数　3.選手9名による一斉ジャンケン

《決勝トーナメント》別紙あり

大会2日目に（11月3日）予選1，2次で通過した4チームで予選2次リーグ後に東川町で準決勝を行い、

大会3日目に（12月8日）札幌コニュニティーつどーむにて決勝と３，４決定戦を行う。

組み合わせは東川会場にて再度抽選を行う

○大会特別規定(予選リーグ、決勝トーナメント共に同じ)

１、チームは試合開始予定時刻の1時間前までには会場に到着し、その旨大会本部に申し出る。試合開始予定時刻になっても到着せず、それらについて何ら連絡がない場合は棄権とみなす。交通事情等によりやむを得ない理由で遅延した場合は臨時の代表者会議を開き対応を協議する。

２、第一試合のメンバー交換及び攻守決定は、試合開始40分前とする。第二試合以降は、前試合の4回終了時とし、当該チームが連戦の場合は前試合終了時とする。攻守決定はじゃんけんとする。

３、監督のサングラス着用は禁止する。選手が使用する場合は試合前に審判員に申し出て許可を得ること。

４、ベンチスタッフのハーフパンツの着用は禁止する。

５、使用するバットはＪＳＢＢの記載があるものとする。バットリング、鉄棒などの使用は一切持ち込めない。

６、リーグ戦第一試合では若い番号は1塁ベンチとし、決勝トーナメントも左側若い番号を1塁ベンチとする。

７、試合は時間無制限　7イニング制。4回7点差コールド有。故意四球は認める。

※延長その他について…

7イニングで勝敗が着かない場合は2イニングの無死満塁、選択打順による特別延長戦（タイブレーク方式）を適用する。但し２度同じ選択打順は認めない。
2インニグで勝敗が着かない場合はその時点で出場している選手9名による一斉ジャンケンとする。

特別ルールとして降雨降雪や天災または日没などの場合は５回終了で成立となる場合がある。予選リーグで成立にならない場合は翌日早朝に続きから行う。（会場未定）

８、予選１，２次リーグで勝敗が並んだ場合の算出方法（７イニング時点での算出とすることを前提とする）

1.得失点差…一試合での総得点から総失点を引いた差。

コールドゲームの場合は勝利チームが何得点しても＋７、敗戦チームが－７となる。

但し特別延長の場合は同点で迎えているので加算しない。

よってその場合は両チーム０となる。

2.総得点数…一試合で得た点数。但し特別延長の場合は加算しない

3.登録選手9名による一斉ジャンケン

９、その他

・守備側タイムの制限は監督またはコーチが一試合に投手のところに行ける回数は3回以内とする。なお特別延長戦の場合は2イニングに1回行くことが出来る。

注意…監督またはコーチが投手のもとへ行く定義は、タイムを取るかボールデット中にグランドに出て、ファールラインを越えて投手または投手を含む野手が集まっているところで指示を与える行動を示す。投手の方からファールラインを越えて監督の指示を受けた場合や、伝令を使ったり捕手または他の野手に指示を与え投手のもとへ行かせたりした場合も同様とする。これらは全て審判員が判断する。捕手または野手が投手のもとに行ける回数は7イニング中に3回以内とし特別延長戦の場合は2イニングで1回とする。

・捕手または野手が投手のもとへ行きその後監督またはコーチが行けば双方1度として数えられる。ただし投手交代の場合は回数に含まれない。これらは全て審判員が行う。

・攻撃側のタイムも一試合に3回以内とし特別延長戦では2イニングで1回とする。

・突発事故が起きた時、審判員が必要と認めた場合のみ臨時走者の許可をする。

・全会場オーバーフェンスはホームランとし、それ以外はフリーとする。

・ボールは協会指定球トップボールを使用（主催者が用意）

・試合中のネックウォーマー、リストバンド、バッティングレガース・エルボーガードの使用可。また捕手のファールカップは義務とし、コーチャーズボックス、ベンチ内での上着着用は任意とする。

・予選・決勝トーナメント共にシートノックは設けない

表彰：　優勝チーム…カップ、特大メダル、個人賞２個（ＭＶＰ、殊勲賞）

　　　　準優勝チーム…トロフィー、特大メダル、個人賞１個（殊勲賞）

　　　　第三位チーム…メダル、個人賞２個（優秀賞）

　　　　他各チーム…1名選出（敢闘賞）

組み合わせ： 　予選1次リーグは大会当日（1日目）１１月２日７時から東川町ゆめ公園野球場正門前にて、予選2次リーグ及び決勝トーナメントは大会当日（1日目）終了時後のレセプション会場にて行う。

審判員：　　予選リーグではＪＳＢＢ旭川が主審と２塁塁審、１塁・３塁塁審は試合該当しないチームが行う。試合該当しない審判員の報酬はありません。

　　　　　　決勝トーナメントは４審ＪＳＢＢで行う。

**大会要項４（式について）**

開会式または閉会式に関する事項は別途「スケジュール」をご覧ください。

選手宣誓：　当日大会長による抽選で引き当てた該当する主将とする。よって各チームの主将は文面の作成と暗記が必要となる。

**大会要項５（運営）**

運営委員会について：　　北海道チャンピオンシップ協会関係者と各チームの代表者で構成されている組織団体。北海道チャンピオンシップ協会理事長である白谷を委員長とし、本大会を企画した山田を事務局長、開催地であるチームの代表者が本部長とする。所在地は北海道美唄市東6条南1丁目3-6の北海道チャンピオンシップ協会内。連絡先は080－6075－6055　ezo047yamada@gmail.com 事務局長の山田が総窓口となる。

代表者は自チームが行う試合会場での大会運営を行う責任があり、各チームは代表者を筆頭に大会運営をしなければならない。

　　　　　　　　　　　主に予選リーグで試合のないチームは塁審、得点版、ボールボーイなど試合進行に関わる全般の運営を行う。グランド整備は試合後、該当チームで行う。

予選1次リーグ試合開始前の整備・設営は各会場担当者で行いますので必要はありません。ただし2次リーグ試合開始前の整備・設営は必要になります。

代表者は試合開始時間やオーダー交換、得失点の計算、引き分け時のじゃんけんなどや試合にまつわる不具合などを適切に処理し円滑な運営に努めなければならない。

試合経過の速報、試合結果などを本部または各媒体への伝達も担う。

会場についての注意事項：　　球場以外での鳴り物は禁止。駐車場は所定の場所以外では止めない。

　　　　　　　　　　　　　　冬期間の開催にあたりトイレの開設はありません。

　　　　　　　　　　　　　　各会場は全て禁煙です。会場から退席する場合は必ずゴミは持って帰ってください。冬期間の開催な為収集はありません。

安全第一：　　試合中に起こりうる事故や天災で試合続行が難しい場合または選手（子供）に身の危険を感じた場合は大人の判断で即刻中止にしてください。

交流戦について：　　惜しくも予選リーグで敗退されたチームは翌日他のチームと調整をして希望であれば交流戦を行ってください。その際の会場を提供させていただく次第であります。レセプションにて組み合わせ調整あり。

順延・中止の場合：　　東川町ほかで行う大会１日目から２日目に不都合が生じた場合は下記の通りになります。

・１１月２日から３日まで１日間の中止になった場合は予備日を活用し翌日にスライドいたします。

・１１月２日から３日までの２日間の中止になった場合は可能な限り予選リーグを行い残った予選リーグは後日各ブロックで調整して行っていただきます。（候補地　豊浦町など）

・１１月２日から４日まで３日間の中止になった場合は大会そのもの運営に支障が出ますので改めて開催自体の存続を各チームの代表者と協議し決定します。

個人情報の一部開示のお願い：　　大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、提供いただいた個人情報について適正に取り扱う。今大会における事務連絡、プログラム制作、協会および大会サイトや同ＳＮＳへの掲載、インターネット動画配信、報道機関への提供、宿泊施設への提供、記録や賞の発表、行政機関からの問い合わせへの対応、その他大会運営に必要な範囲のみ使用するものとし、大会参加者はこれに同意するものとする。

同意について：　　代表者はこれらの事項をチーム選手とその保護者に十分に説明し、また説明を受けた選手とその保護者は必ず同意書に記名捺印する義務がある。当委員会としては改めての同意書の提出は必要はない。

お問い合わせ　０８０－６０７５－６０５５　　ezo047yamada@gmail.com 山田まで。

お知らせは大会専用フェイスブックにて掲載してます。　https://www.facebook.com/ezo.city.the.battle/